

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	生駒市	代表者名	市長 小紫雅史
担当者部署	市長公室	連絡先電話番号	0743-74-1111
担当者役職	主幹	担当者氏名	村田充弘
		連絡先E-mail	*****
住所	630-0288 奈良県生駒市東新町8-38		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	河井氏が提唱するシティプロモーションの成果指標「修正地域参画総量指標（mGAP）」等の知見を活かし、ロジックモデルのアウトカムの設定や課題整理ができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年9月12日	支援・助言(オンライン)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			14時00分	16時30分	
			活動時間（分）	150	
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市職員、企業	6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市では、昨年度グッドデザイン賞を受賞した市民PRチーム「いこまち宣伝部」やプロモーションサイト「good cycle ikoma」等を通じて、まちの魅力を編集・発信し人と人のつながりや交流を生むサポートを行い、まちのファンを増やししながら新しい都市イメージをつくる取組を実施している。これらの事業は、「コミュニティの形成」や「シビックプライドの醸成」といった社会的な価値を生み出している一方で、数値化・定量化しづらく、成果の可視化が難しいという課題がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	シティプロモーション施策の生みだした社会的価値について、デジタルツールを用いて可視化（数値化・定量化）し、わかりやすいレポートが作成されること。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	8月に行った市民ワークショップやアンケートの結果をもとにできたロジックモデル（案）について話し合った。河井氏は、事業者や行政職員と対話する中で、ロジックモデルのアウトプット・アウトカムの整理や、新たな指標設定や継続的な計測方法の提案を行った。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	河井氏が提唱するシティプロモーションの成果指標「修正地域参画総量指標（mGAP）」に関する説明を受け、「推奨意欲・感謝意欲・参画意欲」をロジックモデルの初期成果に設定した。また、ロジックモデルを組織内外に理解・浸透させていくために、「アウトカム全般をシンプルにする」「ステークホルダーごとのアウトカムの設定」「指標の継続的な測手方法」等をご教示いただいた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の支援の結果を受け、ロジックモデルを作り直し、次回でロジックモデルを完成させる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは前回実施したため、今回は行わなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	シティブロモーション施策が生んだ成果とロジックモデルを可視化することで、効果的な打ち手を立案できるようになること。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

